

公益社団法人京都モデルフォレスト協会 平成30年度事業計画

<重点方針>

モデルフォレスト運動のさらなる発展を目指して、

- ① モデルフォレスト運動の連携強化と拡大を推進します。
- ② 次代を担う子どもたちの森づくり体験・学習活動を進めます。
- ③ 緑の募金活動等を通して森林をはじめとする緑の大切さの啓発に努めます。

1 モデルフォレスト運動の連携強化と拡大

これまで「モデルフォレスト運動」の様々な活動や事業により築かれてきた多くの「人と人のつながり」、「地域、企業・団体のつながり」を、さらに「強め」、「活かし」、「広げる」ことにより、モデルフォレスト運動のさらなる発展を目指します。

- 森林づくり活動組織等による技術研修や情報交換を主とした「森林づくり公開セミナー」を開催し、活動の充実と、各地域での新たな取組を拡大します。(新規)
- 森林づくりを介した企業等のCSR活動の展開を主とした「CSR活動公開セミナー」を開催し、ネットワークの拡大、活動の発展、新たな企業の参画を促します。(継続)
- 企業・団体等の森林づくり活動の向上を図るため、「企業の森林オープンフォレスト」と企画・運営講座を開催します。(新規)
- 関係団体、企業、ボランティアがそれぞれの活動で活用できる実践的な内容のモデルフォレスト府民講座を開催し、森林づくり活動のレベルアップや情報発信力を高めます。(継続)
- 林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策」事業や京都府の「府民参加型里山ふれあい事業」を活用し、地域と一体となった持続的な森林整備活動や資源の利活用の取組を支援します。(継続)
- 協会情報誌「以森伝心」や協会ホームページ、メールマガジン等を通じ、森林づくり活動等の報発信を強化し、モデルフォレスト運動への府民参加のすそ野の拡大に努めます。(継続)

2 次代を担う子どもたちの森づくり体験・学習の推進

子どもたちが森林や自然環境にふれあい、体験できる機会が少なくなっている中で、森や緑を守り育てることの大切さを学ぶ体験・学習を推進します。

- 子どもたちの森づくり体験・学習を推進するため、企業等の協力により「子ども森づくり体験・学習事業」を実施します。(新規)
- 緑の少年団の活動を支援し、森林や緑を大切にすることを育むとともに、新たな団体の結成に向けた取組を進めます。(継続)
- 毎年開催の緑化運動ポスターコンクール等を通じ、緑の大切さを啓発します。(継続)

3 緑の募金活動等を通じた啓発の推進

関係団体や協会会員の協力を得て、緑の募金や森林づくりへの寄付等を拡大する取組を強化し、森林整備、地域緑化、環境教育、森林ボランティア活動等への支援を充実します。

1 モデルフォレスト運動の連携強化と拡大

(1) 府民参加のすそ野の拡大と啓発活動

モデルフォレスト運動に参画する企業、団体、地域、会員等が、運動推進のためのセミナーの開催を通じ、情報交換や交流に取り組み、人や情報のネットワークの構築や活動の強化と拡大を推進します。

公開セミナーの開催による活動支援とPR

企業からの寄付による「企業の森林づくり事業」、国庫事業の「森林・山村多面的機能発揮対策事業」、府の「府民参加型里山ふれあい事業」など様々な形で森林づくり活動が進められている中、技術の向上と取組をPRするため「森づくり公開セミナー」を開催します。

モデルフォレスト府民講座の開催

各地で様々な形で取り組まれているモデルフォレスト運動が、より一層その活動を深めるとともに、ネットワークをより強固なものにするため、個々の現場で活かせるような実践的な内容での講座を開催します。

(2) 府民による身近な森林づくり活動への支援

林野庁「森林・山村多面的機能発揮対策」事業

林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策」事業の交付金の管理、活動組織の支援を行う「地域協議会」の事務局を担うことにより、地域の活動団体が実施する里山林等の森林の保全管理や、森林環境教育等の取組を支援し、モデルフォレスト運動の更なる拡大を図ります。また、参加団体の情報交換、研修等の場を設け、活動の充実に向けた取組を支援します。

京都府「府民参加型里山ふれあい事業」

京都府豊かな森を育てる府民税を活用した「府民参加型里山ふれあい事業」を通じ、荒廃した里山林の整備を進め、府民の森林整備活動に対する関心を高め、地域での取組のさらなる拡大に努めます。

森林づくり基金による地域の森林づくりの取組支援

モデルフォレスト運動の参画、賛同する企業等からの寄付金により地域の森林づくり活動を支援し、地域の森林づくりの取組を広くPRし、取組の輪を一層広げます。

また、活動成果報告会を開催し、地域の森林づくり活動の充実に努めます。

(3) 企業・団体による森林づくりと交流の推進

企業等による森林づくり活動の誘致

CSR に積極的な企業や創立周年記念事業を控えた企業などに、京都モデルフォレスト運動の趣旨、取組を積極的に情報発信し、参画を誘致します。

森林づくりと CSR 活動をテーマに企業等の交流、誘致を推進するセミナー

森林づくりを通じた CSR 活動への関心を広め、併せて、活動に参画している企業間の情報交換等により活動のレベルアップを図るため、生物多様性の保全をはじめとした最新の CSR 活動、情報を提供する「公開セミナー」等を開催します。

企業の森「オープンフォレスト」と企画・運営講座の開催

企業・団体による活動が活発化している中、森づくり活動の向上を図るため、企業ごとに異なる活動の創意工夫を現地で学び、交流する「企業の森林オープンフォレスト」を開催するとともに、企画運営や安全管理などのソフト面を推進する企画・運営講座を開催します。

(4) 森林ボランティアの養成、支援

森林整備体験教室等の開催

京都府や市町村、ボランティア団体等の取組との連携を図りながら、間伐等の森林整備体験教室や森林体験ツアー等を開催することにより、府民の森林の果たす様々な役割についての理解を高めるとともに森林づくり活動への参加の促進を図ります。

森の人材バンクの活用

森林インストラクター等の資格者等を登録する森の人材バンクを活用し、森林ボランティア団体や学校、企業等の希望に応じて指導者を紹介・斡旋します。

企業、学校、団体等の要望に応じて、森林づくりへの理解を深めるための環境学習講座等を実施します。

(5) 普及啓発や情報発信

イベント等を通じたモデルフォレスト運動の PR

毎年春、秋に「STIHL の森 京都」で「森林づくり体験イベント」を開催するほか、様々なイベントに積極的に参加し、モデルフォレスト運動を幅広く PR します。

紙面、インターネット等による情報発信

協会ホームページや協会広報誌「以森伝心」、フェイスブック、メールニュース等を活用し、協会や森林づくり団体等が行う森林づくり活動等についてのタイムリーな情報発信を行い、モデルフォレスト運動への府民参加の裾野の拡大を図ります。

森林吸収量認証制度を活用した普及啓発

森林吸収量の認証機関として、企業等の森林整備活動や森林づくりへの寄付等による取組を森林吸収量認証等により評価・PRし、企業やNPOの参加を促進します。

国際的なネットワークを活用した取組の展開

英文ニュースを発行し、国際モデルフォレストネットワーク(IMFN)の一員として、京都の取組を世界に向けて情報発信します。

(6) 公的森林等の管理支援

府有林の管理支援

京都府から府有林管理の検査補助業務を受託し、公有林の多面的機能の充実を支援します。

洛西散策の森の管理支援

府民の森とのふれあいの場所である「洛西散策の森」(京都市西京区)の管理を京都府から受託し、府民に開かれた森林環境の整備に努めます。

2 次代を担う子どもたちの森づくり体験・学習の推進

森林環境学習等を通じた次代を担う子どもたちの育成

子どもたちが森林や自然環境にふれあい、体験できる機会が少なくなっている中で、森や緑を守り育てることの大切さを学ぶ機会づくりを推進します。

子どもたちへの森林環境教育の推進

幼・保・小中学校などでの出前授業を実施し、森の大切さをわかりやすく伝えるとともに、森林観察や工作など体験講座を推進します。

企業等からの寄付による「子ども森づくり体験・学習」

企業等からの寄付により「子ども森づくり体験・学習」を推進し、間伐などの森林づくり活動の見学・体験や、森林インストラクターによる森林教室など、子どもたちの森林や環境への理解を深める活動を推進します。

子どもたちの交流の場づくり

府内各地で活動する緑の少年団と森づくりに取組む企業・団体等の子どもたちの交流を目指した「京都山キッズ応援協定」に基づき、幅広い交流の場づくりを推進します。

緑の少年団の活動を支援

府内各地で森林や緑を守り育てる活動に取り組んでいる緑の少年団(26団体)の活動を支援し、次代の森づくりや緑化を担う子どもたちの育成に努めます。

ポスターコンクールを通じた自然を大切にする心の育成

緑化運動ポスターコンクールの募集等を通して、学校等での「緑化」を介した子どもたちの交流の機会をつくり、自然を敬う心を養います。

3 緑の募金活動等を通じた啓発の推進

募金活動を通じて森林をはじめとする緑の重要性等を啓発するとともに、緑豊かな森林づくりや森林と触れあう取組への支援等を進めます。

(1) 緑の募金活動

- ・ 各種行事等での募金や、モデルフォレスト運動参画企業や地方公共団体との連携を強め、募金活動を進めるとともに、協力いただいた募金の活用内容をホームページや印刷物等で積極的にPRすることにより募金額の拡大を図ります。
- ・ イベントへの出展や関係団体と連携した街頭啓発活動で、普及啓発に努めます。

	募金強化期間	募金目標額	平成29年度実績額
春期	3月1日から5月31日	13,000千円	11,504千円
秋期	9月1日から10月31日	4,000千円	3,823千円
計		17,000千円	15,327千円

(2) 緑の募金による事業

緑化の推進

ア 学校・地域緑化

次代を担う児童・生徒や地域住民等の森林や緑の大切さへの理解につなげるため、学校緑化、まちなかなど地域の緑化を助成、推進します。

イ 緑の少年団等の育成

緑の少年団活動を支援するため、緑の少年団が行う学習活動・野外活動・奉仕活動を助成、推進します。

地域での取組支援（緑の募金交付金）

地域の募金協力団体が、各地域で森林整備や植樹等を通じて緑化思想の普及啓発を図るための経費として、募金実績から交付金を支出するとともに、担当者会議等により相互の情報交換や積極的な交流を進めます。

森林整備

ボーイスカウトやガールスカウトが行う森林愛護運動に係る資材等の購入、森林整備活動・研修などの取組を推進します。

ポスターコンクールを通じた自然を大切に作る心の育成（再掲）

緑化運動ポスターコンクールや愛鳥週間ポスターの募集等を通して、学校等での「緑化」を介したこどもたちの交流の機会をつくり、自然を敬う心を養います。